

## 平成19年度当初予算 施策別概要

### 222 農林水産資源の高付加価値化

(主担当部：農水商工部)

22201 地産地消・食育の推進 (農水商工部)

22202 農林水産資源のブランド化の推進

(農水商工部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 県内外の消費者が

(意図) 付加価値の高い県産農林水産物を認知しているとともに、その提供を受けている

#### < 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	「三重ブランド」として認定された農林水産品目の認定事業者数	目標値	44事業者
		現状値	39事業者(2005年度)

ブランド化された農林水産品目の認定事業者数(三重ブランド認定委員会の審議を経て知事が認定したもの)

県の取組	県内産品を意識的に購入する人の割合	目標値	51%
		現状値	28%(2005年度)
目標項目	「三重ブランド」として認定された農林水産品目数	目標値	12品目
		現状値	9品目(2005年度)
(副指標)	「三重ブランド」ホームページアクセス数	目標値	18,000件
		現状値	15,313件(2005年度)

#### < 現状と課題 >

・農林水産物輸入の増大と国内産地間の競争の激化等に対応し、三重県の農林水産業の競争力の強化をはかるためには、県民や消費者の満足度を高め、その支持を得るための農林水産物の付加価値向上が求められています。また、消費者の多様なニーズに対応した加工食品の高付加価値化のためにも、農林水産業と食品産業との一層の連携が必要になってきています。一方で、地域の農林水産物やその加工品、農山漁村の文化・風土などに由来するサービスの消費・享受を通じ、地域のあり方や個人の生活様式を再考する「地産地消運動」や国民運動としての食育推進機運の高まりなどへの取組が求められています。

#### < 平成19年度の取組方向 >

地域の特色に応じた地産地消運動の実践と食育の取組を推進するとともに、県民のニーズに応じた県産食材等の魅力づくりを行い、これらの食材に県民がふれる機会を増加させる環境づくりに取り組みます。また、安全・安心な県産食材が持続的に生産され、県民に提供される環境づくりを行うとともに、食に関する安全・安心の取組を地域の多様な主体と連携・協働しながら推進します。

地域資源を活用しブランド化に成功した品目と事業者を適正に評価し、モデルとして積極的に情報発信を行います。また、地域資源を活用し高付加価値化、ブランド化する上でのノウハ

ウ・スキルを向上する人材育成のプログラムを実施するとともに、その素材となる生物系知的財産について調査・評価し、事業者の積極的な活用を促します。

<主な事業>

(新)(舞)地産地消・地域連携創造支援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

当初予算額： - 千円 74,500千円

事業概要：地産地消運動の定着化や食育の推進を図るため、民間団体との協働により、県民ニーズに応じた情報の提供を行うとともに、地域における地産地消や食育の連携活動の創出・実践・定着を促進します。

(新)(舞)みえの食・安心安全確立推進事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

当初予算額： - 千円 32,000千円

事業概要：安全・安心な食が持続的に生産され、県民に広く提供される環境をつくるため、みえの安心食材表示制度の確立と地域特産品認証食品の普及促進、環境にやさしい農業生産の推進を行います。

(新)(舞)「みえの食」魅力づくり応援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

当初予算額： - 千円 21,275千円

事業概要：消費者や生産者の声を生かした県産食材の魅力づくりに取り組むとともに、県民がさまざまな生活ステージにおいて、これらの食材にふれることが出来るような環境の整備を行います。

(新)(重)地域資源ブランド化支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

当初予算額： - 千円 75,136千円

事業概要：事業者のブランド化の努力を適正に評価するとともに、地域イメージ向上のための情報発信やマーケットインの発想で農林水産資源の高付加価値化を戦略的に展開する人材の育成をプロジェクトベースで集中的に実施します。また、連携・協調によるネットワーク形成支援や県内農林水産物に関する知的財産を発掘・検証し、知財を県内事業者が活用しやすい形にブラッシュアップすることにより、高付加価値化の実践と新ビジネス創出の支援を行ないます。